

JR伊東駅前観光トイレ



外観

市民や観光客からの整備要望の声を受け、JR伊東駅前広場に、観光トイレとして新設された屋外公衆トイレ。24時間開放されている。



案内板(触知図)・入口



トイレ入口横の外壁には案内板(触知図)を設置。入口のすぐ右側に「多機能トイレ」、左側に「親子トイレ」を配置。正面の壁にはモニターが設置されており、伊東市のPR動画が流れている。

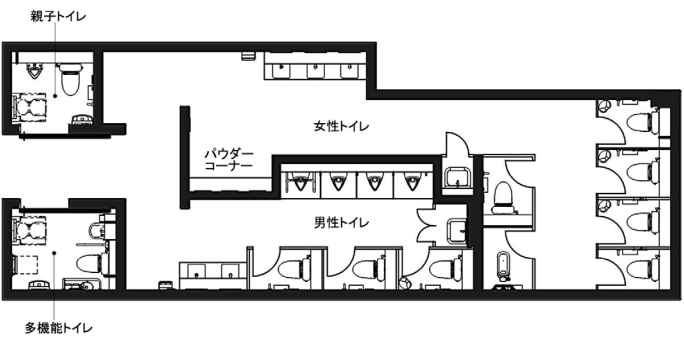


内装

コンクリート打ち放しの壁面と木の骨組の組み合わせ。トップライトから明かりを採りこみ、シンプルで温かみのある空間を演出している。

図面

パウダーコーナーを設置したり、多機能トイレと親子トイレをわけると、機能分散が図られており、さまざまな利用者が快適に使用できるよう配慮されている。



洗面・パウダーコーナー



洗面コーナーは、手荷物配慮が施されたツインデッキカウンターを採用。女性トイレには、洗面コーナーの混雑緩和に配慮し、化粧直しができるパウダーコーナーを別に設置している。



大便器ブース

連続洗浄できるパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式にウォシュレットをセット。全ブースに手すりを設置している。また、防犯対策として、ブースの間仕切り壁を天井まで立ち上げている。



小便器コーナー

清掃性のよい壁掛式の自動洗浄小便器は、尿石付着を抑える効果のある『きれい除菌水』機能を備えた超節水タイプを採用。傘や手荷物に配慮し、小便器脇にフックを設置している。



多機能トイレ



ドアには大きくわかりやすいピクトサインを掲示。また、外国人配慮として4ヶ国語で表記している。



多機能トイレ

車いす使用者のほか、オストメイトやお子様連れにも対応できる設備が完備された多機能トイレ。



親子トイレ

性別の違うお子様のサポートがスムーズにできるようにとの配慮から設置された親子トイレ。ベビーカーの入室も可能な広めのブースとなっている。

水まわりの特長

建物の特徴

もともとJR伊東駅前の広場にあったトイレは、老朽化が進み和式便器が多く、高齢者や外国人をはじめ観光客に使いにくい状況であり、以前から整備要望があがっていたこともあり、伊東市が観光トイレとして整備する運びとなった。新設されたトイレでは、洋式便器を中心とし、体の不自由な方や高齢者にも優しい多機能トイレを設置。パウダーコーナーや親子トイレを取り入れるなど、利用者が安心して快適に利用できるトイレとなっている。伊東市は、日本人にはもちろん外国人にも人気の観光地であることから、サインに4ヶ国語表記を採用、さらにトイレ入口正面壁にはモニターを設置し伊東市のPR動画を流すなど、観光地ならではの工夫が盛り込まれている。

トイレの特長

屋外の公衆トイレでありながら、大便器は(女性トイレの和式便器ひとつを除き)すべてにウォシュレットを設置。また、全ブースに手すりを設置、防犯対策としてブースの間仕切りを天井まで立ち上げる、小便器間には手荷物配慮としてフックを設けるといった、さまざまな利用者が快適に使用できるような細やかな配慮が施されている。さらに、多機能トイレとは別に親子トイレを設置。女性トイレには、別途パウダーコーナーが設置されるなど、機能をしっかり分散することで、快適性の向上や混雑緩和が図られている。清掃は、水残りやニオイのない衛生的な空間維持を目的に、乾式清掃を採用。おもてなしの心を込めた観光駅前トイレが完成した。

建築概要

名称	JR伊東駅前観光トイレ
所在地	伊東市湯川3(JR伊東駅前広場)
施主	伊東市
設計	株式会社U設計集団いなば建築設計室
施工	大同工業株式会社
竣工年月	2020年3月
敷地面積	93㎡
建築面積	72.94㎡
延床面積	72.94㎡
構造・階数	鉄筋コンクリート造・地上1階

おもなTOTO使用機器

パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式:CFS497BC

ウォシュレットアプリコットP:TCF5810AU9R

紙巻器:YH702／手すり:T112C6／自動洗浄小便器:UFS900JCS

ツインデッキカウンター(ポウルー一体タイプ):MKWE／化粧鏡:YM3580FC

コンパクトオストメイトパック:UAS81RSB2NW／手洗器:LSE870BSFRR

ベビーカーチェア:YKA16R／幼児用小便器:U310

フィッティングボード:YKA41／フック:YKH52AR